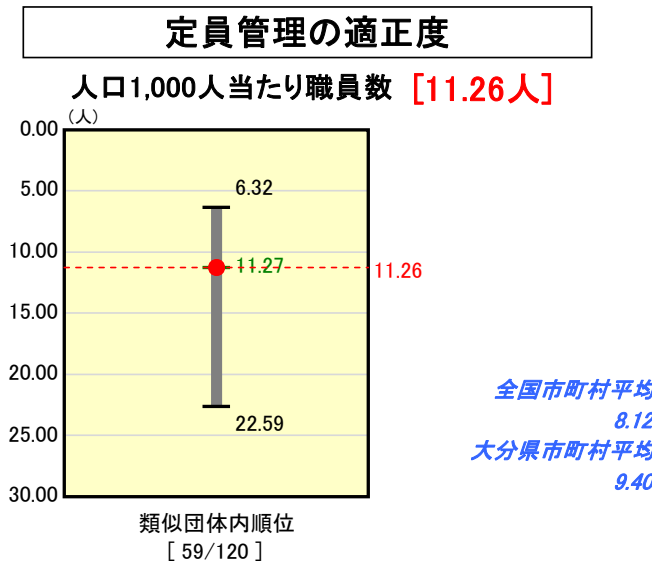
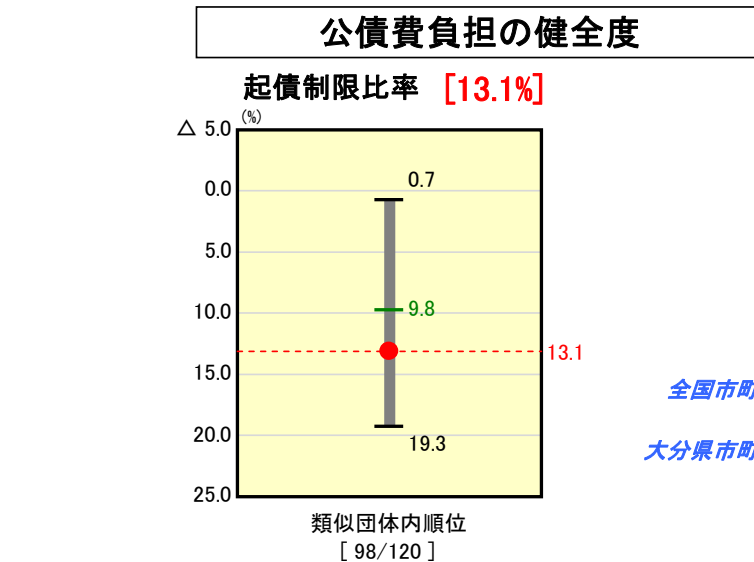
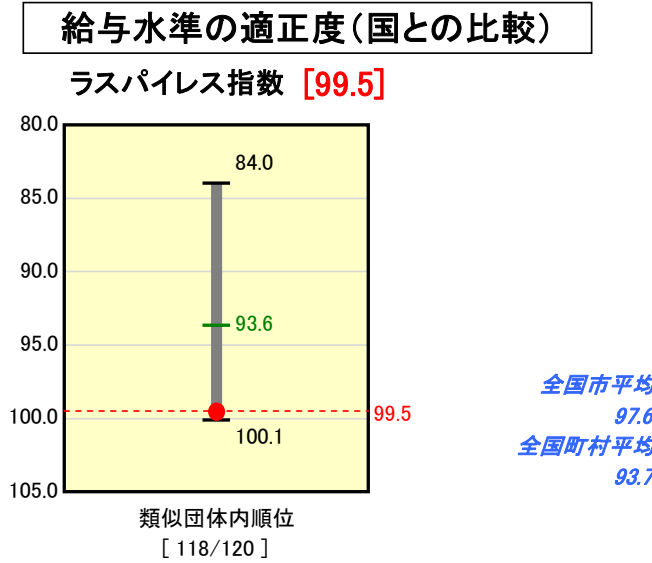
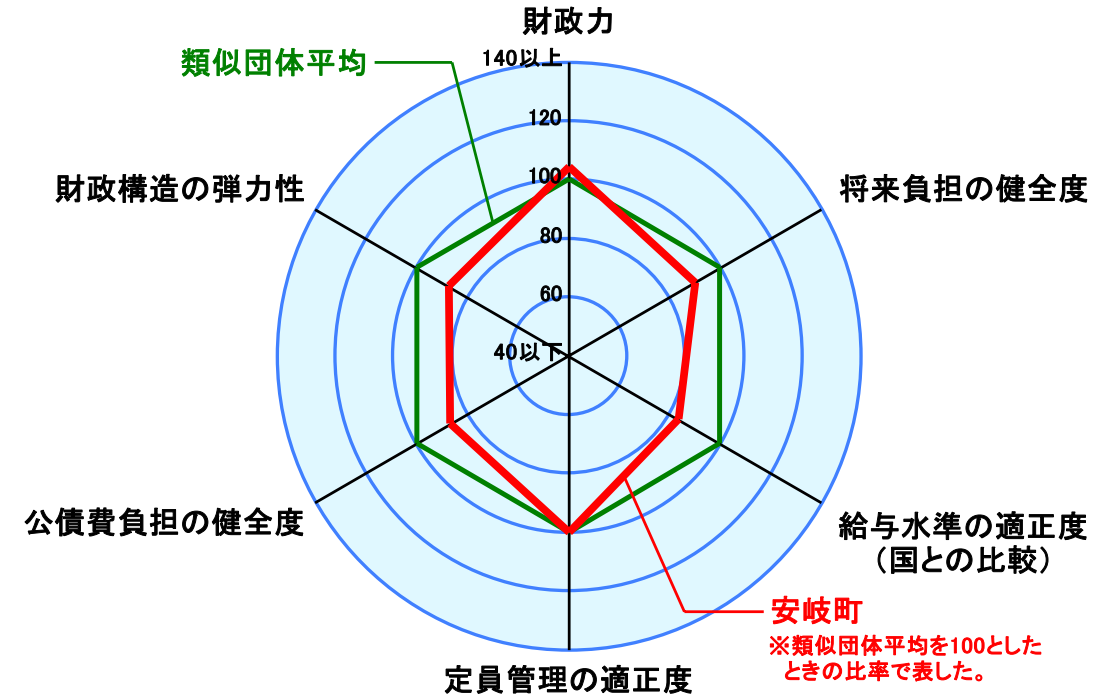
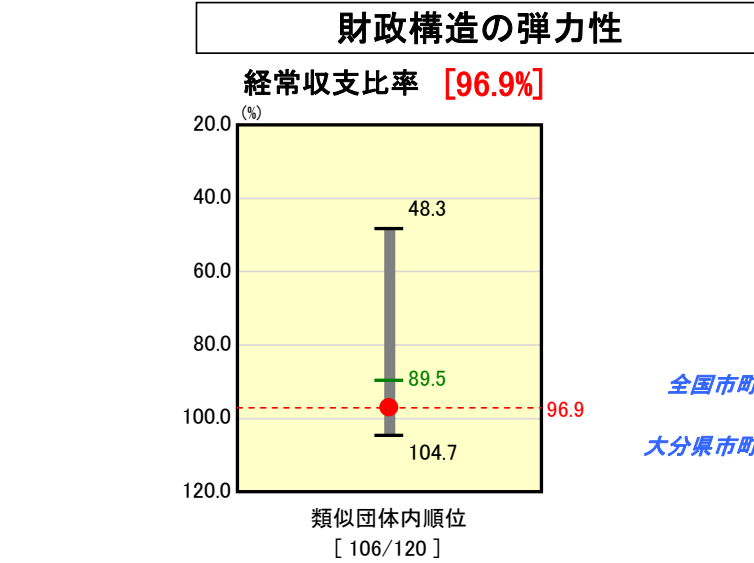
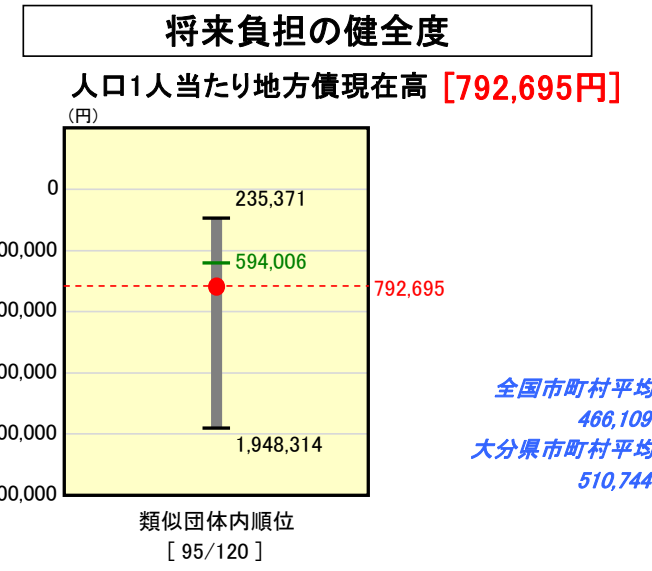
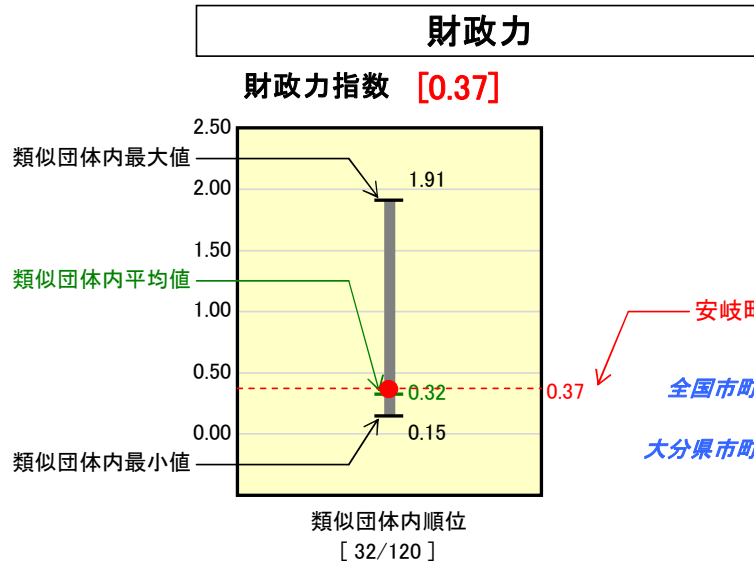


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 大分県 安岐町

人口	9,860人(H17.3.31現在)
面積	90.75 km <sup>2</sup>
歳入総額	5,253,846千円
歳出総額	5,045,370千円
実質収支	198,412千円



### 分析欄

財政力指数 : ここ3年間で連続した伸びを見せており、0.37(類似団体平均0.32)となっている。町内大型事業所の法人町民税の伸びと併せて、近年取り組んできた税徴収率の向上の成果(97.9%)等が要因として挙げられる。

経常収支比率 : 本年度4.5%の上昇となった。要因として、義務的経費の高騰がある。公債費は、ピークを平準化するため過去3年間(平成12年~14年)繰上償還を行ってきた。人件費は、行財政改革における定員適正化計画に基づき過去3年間で6名の減、なお収入役の助役兼掌等を行ってきた。しかし、高齢化社会の到来に伴う扶助費、特別会計への繰出金など高騰の一途を辿っていることから、今後新市で策定される「集中改革プラン」の中で再度見直す必要がある。

起債制限比率 : 3ヶ年平均で13.1%と、高位で推移している現実がある。標準財政規模との兼ね合いもあるが、今後も13%台での推移が予想されることから、事業執行における選択と集中を模索しながらプライマリーバランスの改善を目指していく。

ラスパイレス指数 : 類似団体の平均を大きく上回っているが、平成16年より行財政改革において、特別昇給の停止等の実施により毎年度マイナスの伸びとなり類似団体指数に近づく形となっている。

人口1,000人当たり職員数 : 類似団体平均とほぼ同数値となっている。平成14年からの退職不補充により6名の削減を行ってきた。また、事業実施等におけるスクラップアンドビルドを、機構改革の中で常に実施してきたことの効果として挙げられる。

人口1人当たり地方債現在高 : 類似団体平均を3割以上上回っている。これは多年にわたる町道改良事業や県道改良事業に伴う負担金、宿泊研修施設の建設等によるところが大きい。起債制限比率と同様の取扱いをしながら、地方債現在高の抑制に努めていきたい。